

令和8年8月28日

こども青少年局

所属長 佐藤 充子 様

大阪市教育局

教育長 多田 勝哉 様

東住吉区 区長 藤原 鉄也 様

東住吉区担当 教育次長 様



PTA 協議会

団体名 大阪市東住吉区PTA協議会

代表者名 塚田 恭嗣

塚田 恭嗣

要 望 書

以下の事項について、対応いただきますよう要望します。

1 要望事項 【 ☐ 新規要望 】

「いきいき事業」につき、下記3点に対する早急な対応を要望します。

- (1) いきいき活動室における利用者一人当たりスペースの狭隘改善
- (2) 指導人員の増強と指導スキル向上
- (3) 教育委員会との更なる連携

2 要望に関する位置情報や場所

東住吉区内各小学校に所在する「いきいき活動室」

3 要望区分

いきいき事業に関すること

4 要望内容（現状や改善内容を簡潔に記載してください）

(1) （現状）

小学生が放課後に安全に活動できる健全育成の場である「いきいき活動室」の利用者が増え、一人当たりスペースの狭隘が如実に表れており、利用する子どもたちのストレスも計り知れないものとなっています。ある小学校では常時、肩が触れるほどに狭く、鉛筆で隣の子を刺す事例も発生しています。

（改善要望）

こども青少年局はじめ受託業者である株式会社KEGリソースより、大阪市教育局及び各小学校へ利用スペースの増加依頼を頂いていることは存じておりますが、「指導スキルのある人員を確保した上での」活動室として利用できる小学校内の教室や体育館、多目的室等、更なる利用スペースの増加を要望します。

(2) (現状)

ある小学校ではいきいき活動室として利用できる教室が2部屋あるものの、支援員不足により1部屋での活動しかできていないという事例があります。その理由としては、土曜日のみ出勤可能な支援員の登録が多く、また社会保険の加入をしたくないという支援員は稼働時間が少なく、登録支援員数はあるものの、実働できる時間が少なく、結果、支援員不足となっているとお聞きしました。

更には利用する子どもへの指導時に手が出る、騒いだり走り回ったり、子ども同士のトラブルに対し制することも指導すらできない支援員もいます。

いきいき事業の受託業者である株式会社KEGリソースによる支援員への指導、人員増強や研修もさることながら、地域とも連携して回覧板による求人募集も行いましたが、まだまだ指導スキルのある人員の確保に至っていません。

先日、こども青少年局とも意見交換を行いました。指導人員増強のため、事業予算を増加していただいていることは理解できますが、日本全体として賃金水準も向上しており、結果労働条件（雇用条件）として見劣りしてしまっていることが原因で指導スキルの人員確保が出来ていない状況です。一方で、小学校のサポーターが支援員をして下さっている事例をお聞きしました。

(改善要望)

子どもたちのことをよく知ってくれているサポーターが支援員をして下さることは保護者にとっても安心でき、また子どもたちも学校生活で、なじみのある先生からの指導は聞き入れやすいと思います。加えて小学校との情報連携も図りやすくなるものと思われまます。こども青少年局と大阪市教育委員会が子どもを中心として更なる連携を図っていただき、サポーターに対するいきいき支援員への兼務の推薦を要望します。

また、区全体での支援員の確保に向けた雇用への協力体制として、各種団体や行事ごとでの支援員募集の呼びかけ、広報誌「なでしこ」での募集など、常日頃から「いきいき事業」につき、人員を募集している旨を喚起頂きたく存じます。

加えまして、指導スキルのある人員確保のため、見劣りしない賃金体系及び労働時間条件の見直し、それに伴う予算増強や有償化による人件費の捻出といった制度自体の見直しを要望します。

(3) (現状)

こども青少年局と大阪市教育委員会との連名で協力体制を取る通達が出ていることをお聞きしました。一方で、小学校が保有する、アレルギー、グレーゾーンや支援を要する子どもなどの個別具体的な情報について、いきいきと共有することは、回りまわって保護者から情報漏洩として学校長への責任問題を問われかねないため、一定の情報共有障壁があり、現にとある小学校では情報共有がなされておらず、また、いきいきで起こったトラブルについて、小学校との共有が図れていないために、翌朝になって、小学校の先生がそのトラブルを引き取り、対処している事例もあります。

(改善要望)

いきいき利用登録時点で保護者から小学校と情報共有をする旨、同意を得ることで、小学校との情報共有障壁を取り払うことを要望します。

一方で、いきいき活動で起こったトラブルについては、いきいき内で完結できるよう前述通り、指導スキルのある人員の増強は勿論、翌朝でも学校生活内で小学校の先生と連携をしてトラブル解決に当たれるような制度見直し、学校サポーターの支援員兼務、一方で支援員からの学校サポーター兼務がしやすいような縦割り人事制度の見直しや双方の業務外でも子どもを中心とした情報連携・伝達ができるシステム作りといった更なる連携を要望します。

以上

5 代表者の連絡先

メール: reiwa-higashisumiyohi-kpta@outlook.jp

電話: 会長 塚田 恭嗣 090-7345-0513